

目次

CONTENTS

理事長挨拶 2

■ 奨学事業

3

渥美奨学金の概要 4

蓼科旅行 5

見学会（池袋防災館体験） 6

渥美奨学生の集い「日英戦後和解」 6

2013 新年会 7

2012 年度渥美奨学生（18 期生）研究報告会 8

ラクーン会 10

■ 国際交流事業

11

SGRA の概要 12

海外研究交流活動

第 2 回 日台アジア未来フォーラム 13

第 5 回 ウランバートル日モ国際シンポジウム 14

第 12 回 日韓アジア未来フォーラム 15

第 14 回・第 15 回 日比共有型成長セミナー 16

第 1 回 アジア未来会議 17

国内研究交流活動

第 44 回 SGRA フォーラム in 蓼科 21

第 1 回 SGRA スタディツアー 22

第 1 回 SGRA ワークショップ 22

第 1 回～第 3 回 SGRA カフェ 23

GVJ Colum Contest 2011-2012 24

■ 財団運営

業務日誌 25

財務諸表 26

財団人名簿 27

奨学生名簿 28

2012 年度の活動にご協力いただいた皆様 32

ご挨拶

理事長 渥美伊都子

おかげさまで渥美交際交流財団は本年度をもちまして設立 20 周年を迎えます。

1995 年度 11 名の奨学生から始めたこの財団も順調に活動が進み、2013 年度の 19 期生を加えますと総数 229 名となって、そのネットワークが世界中に広がり、研究成果も着実に延びておりますことを、とても嬉しく思っております。



このネットワークを基盤とした国際研究交流事業である関口グローバル研究会 (SGRA) の活動もますます充実してきております。国内では従来の SGRA フォーラムに加え、SGRA カフェ、SGRA スタディツアー、SGRA ワークショップとメニューも増えてまいりました。また海外では従来の韓国、中国、モンゴル、フィリピン、台湾を拠点にした活動に加え、新事業のアジア未来会議をタイ国バンコク市にて無事成功裡に開催することができました。

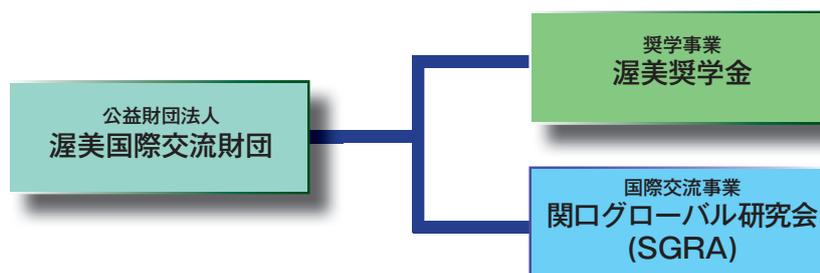
アジア未来会議には、日本に留学したり日本に関心のある 300 名を超える研究者の皆さんがお集まりくださり、建築家隈研吾様の公開基調講演には 1200 名の参加者を得ました。国際的かつ学際的な研究交流の場で、異なる国、異なる分野の人々が議論することによって、新しい発見があり、素晴らしい体験ができたこと、多くの方々から高く評価していただきました。

思いのほか立派な国際会議となったのは、明石康大会会長をはじめ、ご支援くださった多くの方々のお蔭であり、何よりもラクーン (元渥美奨学生) の皆さんのご努力とご協力の賜物と、心より感謝しております。交流の場が渥美財団の同窓会のようになごやかな雰囲気であったことも大変印象的であり、今後アジア未来会議が研究と交流の場としてますます発展することを祈念しております。

今後ともどうぞよろしく願いいたします。

渥美財団のふたつの公益事業

渥美財団の事業は大きくふたつに分かれます。奨学事業と国際交流事業 (SGRA) です。



奨学事業

生活支援と同窓会（ラクーン会）活動

渥美財団は、奨学生の皆さんが自分とは異なることをしている人と会い、自分の専門以外のことを話し合う場を提供したいと考え、さまざまな交流の機会を提供しています。奨学金の支給に際しても、銀行振り込みではなく、必ずお目にかかってお渡しし、緊密なコミュニケーションをとりながら奨学支援を行います。奨学期間終了後も緊密に連絡を取り合い、ゆくゆくは世界的なネットワークを築けたら素晴らしいと思っています。

渥美奨学生の同窓会は、渥美健夫氏が描いていた狸にちなんでラクーン会と呼ばれています。ラクーン会は世界各地で開催されています。

2012年度の 主な活動

- 蓼科旅行 p 5
- 見学会（池袋防災館体験） p 6
- 渥美奨学生の集い「日英戦後和解」 p 6
- 2013 新年会 p 7
- 2012 年度渥美奨学生（18 期生）研究報告会 p 8・9
- ラクーン会 p 10

※上記以外にも毎月「月例会」を開催、奨学生の生活支援を行っています。

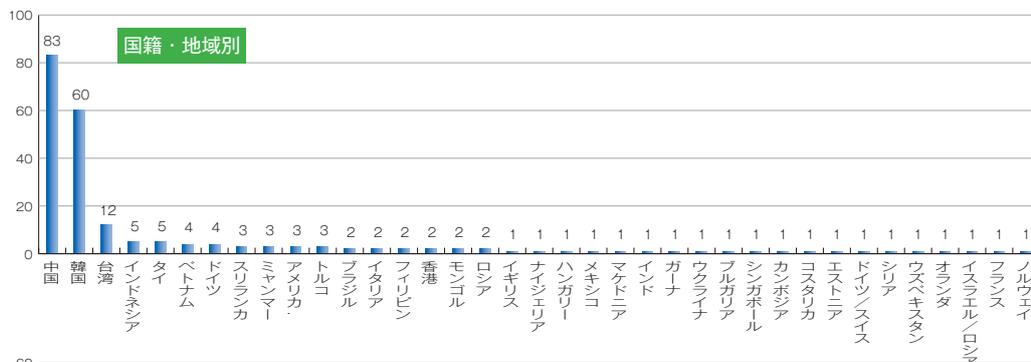
渥美奨学金の概要

渥美国際交流財団は日本の大学院博士課程に在籍する留学生を対象に、毎年約12名の奨学生を募集・選考し、月額20万円の奨学金を支給しています。支給年限は一年で、継続はありません。また、奨学生の専攻分野と国籍に制限はありませんが、一分野・地域に偏らないように配慮しています。2012年度（18期生）までに、37ヶ国・地域、217人を支援してきました（下図）。

渥美奨学生統計

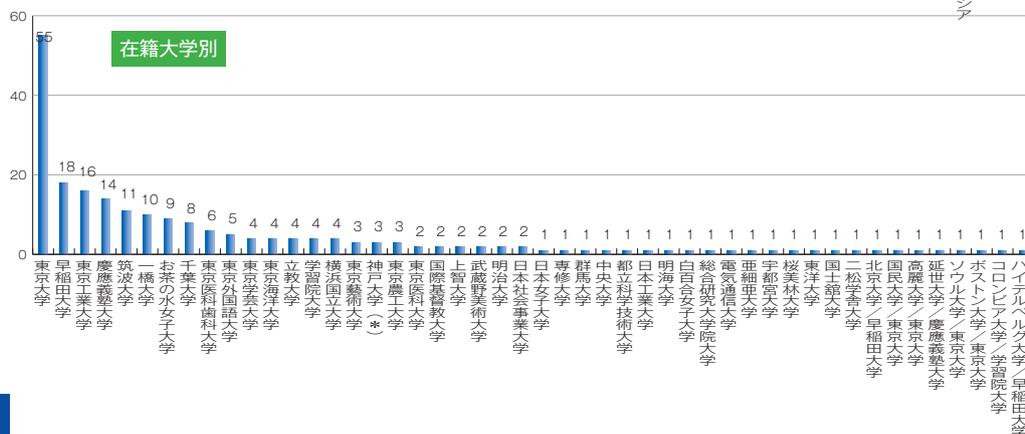
渥美財団奨学生統計表

1995年度～2012年度
(37ヶ国・地域、217人)



1995年度～2012年度
(48大学、217人)

*阪神大震災被災特別奨学生



応募および選考

■ 応募資格（下記の全てに該当すること）

1. 日本以外の国籍を有し、日本の大学院博士課程に在籍し、当財団の奨学金支給期間に博士号を取得する見込みのある方。正規在籍年限を超えたために、或いは、他国の大学院より博士号を取得するために、研究員等として日本の大学院に在籍する方も含みます。他国の大学院より博士号を取得する場合は、渥美奨学金の終了後1年以内に博士号を取得する見込みのある方。
2. 渥美奨学金受給期間、自分の所属する大学院研究科（研究室）と自分の居住地が、関東地方（東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県・茨城県・栃木県・群馬県）にある方。
3. 国際理解と親善に関心を持ち、当財団の交流活動に積極的に参加する意思のある方。
4. 日本語が堪能な方。応募書類と面接は全て日本語だけです。
5. 渥美奨学金の受給期間に、正規の職（常勤職）に就いたり、他の奨学金を受ける予定のない方。

■ 応募方法

奨学金応募者は、7月1日以後、各大学院の留学生奨学金担当課または当財団事務局まで、応募要項と申込書をご請求下さい。同日以後、財団ウェブページからもダウンロードすることができます。応募申込は毎年9月に受け付けます。

■ 選考の方法

事務局における書類と面接による予備審査の後、選考委員による書類選考と面接試験により審査します。選考の結果は12月上旬に通知します。

■ 選考の方針（抜粋）

奨学支援を機縁とした渥美財団のネットワークは、どんなにささやかではあっても世界の調和ある発展のために役立たせたいと考えております。そのため、博士論文の研究内容が人類や社会、あるいは自然との「調和ある発展」へ貢献する可能性が大きいと考えられるものを歓迎します。

蓼科旅行

7月6日(金)～8日(日)

於：蓼科高原チェルトの森ほか

毎年恒例の蓼科旅行を実施。7月7日(土)には第44回SGRAフォーラム in 蓼科「21世紀型学力を育むフューチャースクールの戦略と課題」が開催された。

第一日目 / 7月6日(金)

初日は昼間にSUWAガラスの里と北澤美術館を見学。夕食後は参加者が一堂に会し、オリエンテーションを開催(写真左)。その後ラウンジに移動して、遅くまで皆でおしゃべりを楽しんだ(写真右)。



第二日目 / 7月7日(土)

この日は終日フォーラムに参加(写真左)。ゴルフ場クラブハウスで行なわれた終了後の懇親会でも会話がはずみ、buffetで用意された豪華な料理をゆっくり味わう暇もないほどだった(写真右)。



第三日目 / 7月8日(日)

最終日はバーベキューパーティのための一日。皆で手分けして料理を作り、イタリアンブラスケッタ、韓国のチャプチェ、チヂミ、中国の餃子、トルコ料理、おでんなど国際的な料理が並んだ。



見学会 (池袋防災館体験)

7月20日(金)

於：池袋防災館

8月例会を兼ねて、防災の勉強会を企画。防災の知識を学んだのち、消火活動や震度6以上の揺れなどを体験した。見学会後は納涼会へと移行し、皆の親睦を深める憩いの時間となった。



煙コーナーで避難の心得を学んだのち、消火コーナーで速やかな初期消火の手順を体験。



地震コーナーでは震度6の体験も。驚くばかりの激しい揺れに思わず机の足にしがみつく。

渥美奨学生の集い

講演：日英戦後和解 (1994-1998)

11月1日(木)

於：鹿島新館・渥美財団ホール

ゲストに元駐カナダ、パキスタン大使、在英特命全権公使・沼田貞昭氏をお迎えし、第二次世界大戦後日本がいかに英国と和解に向けて取り組んできたかを主題にご講演いただいた。



1994年から1998年まで在英日本大使館に在任。日本政府と民間の対応を中心に、「恨みの噴出から和解」を成し遂げた事例を、ご自身の経験談を交えながら、詳しく説明される沼田氏。



政府、民間、個人の努力により成し遂げられた「日英戦後和解」を通して、今後の日中、日韓の和解の行方を考えさせられるなど、有意義なご講演だった。

詳細は AISF ニュース <http://www.aisf.or.jp/jp/> 2012.11.01 渥美奨学生の集い 2012 参照

2013 新年会

1月12日(土)

於：鹿島新館・渥美財団ホール

暖かな快晴の一日、渥美奨学生、ラクーン会会員、家族、スタッフを合わせて約70名近い参加者が集った。おせち料理やお国自慢料理が並び、和やかな楽しいひとときとなった。



今年のお国自慢料理は、中国の水餃子、韓国の子チミとお雑煮、スリランカの肉団子、トルコのハンバーグ、延辺(朝鮮族)のキムチなど。



開会挨拶。新しい年を表現する「新」という漢字を選び、「アジア各国との関係をますます重視しなければ」と、新年の抱負を語った。



新年の安泰と五穀豊穡を祈願するお餅つき。大人も子どもも全力投球で杵をふるう。



理事長からはおせち料理の差し入れ。重箱は渥美家の家紋入りの“本物”。文様といい質感といい素晴らしい工芸品。



第一期の大先輩から順次舞台上に上り、新しい年への思いを込めた漢字と抱負を披露。発表後は福引で、次々と賞品が手渡されていく。



理事長の85歳の誕生日を祝い、本年度奨学生たちから合唱とバースデーカード、パワーポイントによるプレゼンテーションが贈られた。

詳細は AISF ニュース <http://www.aisf.or.jp/jp/> 2013.01.12 渥美財団 2013年新年会報告 参照

2012年度渥美奨学生（18期生） 研究報告会

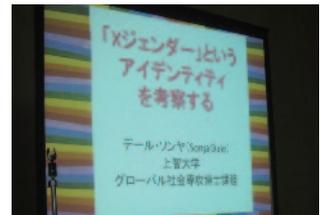
3月2日（土）

於：鹿島新館・渥美財団ホール

本年度・来年度の奨学生、ラクーン会（同窓会）会員、指導教官の先生方や元カナダ大使などの来賓、財団の役員とスタッフを含め、約50名が集まった。



理工系5名、文系7名、計12名の2012年度奨学生が、それぞれの博士論文のテーマを中心とする研究成果を報告した。



昨年の報告会で強調された“効果的なプレゼンテーション”をふまえ、皆がそれぞれ工夫を凝らし、独自性のある発表を行なった。



来賓の方々も、発表者たちの研究が面接時より着実に進んできた「成長」を高く評価。これからの活躍に期待を寄せられた。



渥美奨学生は、ほとんどのジャンルが網羅できるほど幅広い専門分野の人材が揃っている、今後も多めに交流して欲しい、とエールが贈られた。



報告会終了後の親睦会。美味しい料理とお酒を味わいながらの愉快的な雰囲気の中、報告内容について多くの質問や議論が交わされた。



「これで終わるのではなく、これからも世界中のどこにいても連絡を取り合いましょう」と今西常務理事。1年を笑顔で締めくくった。

2012 年度奨学生の発表テーマ一覧

近・現代日本における民芸益子焼の
(文化的) 履歴—民芸運動、モノ作り、
趣味そして環境のダイナミックス

陳 景揚 ちん・けいよう (台湾)

所属：東京大学
専門分野：文化人類学



周氏兄弟の『作家翻訳』
—『現代日本小説集』を中心に—

李 雪 リ・セツ (中国)

所属：筑波大学
専門分野：博士<文芸・言語>
現職：千葉大学文学部研究支援要員
(技術補佐員)



植物細胞の特異的なトランスゴルジ網の
機能探索

崔 勝媛 チェ・スンウォン (韓国)

所属：東京大学
専門分野：生物学
現職：理化学研究所環境資源科学研究センター
植物免疫研究グループ特別研究員



対話のメディアとしての映像

朴 炫貞 パク・ヒョンジョン (韓国)

所属：武蔵野美術大学
専門分野：博士<造形芸術>
現職：映像作家



『Xジェンダー』という
アイデンティティを考察する

Dale Sonja デール、ソンヤ (ノルウェー)

所属：上智大学
専門分野：グローバル社会
現職：上智大学グローバルスタディーズ研究科
特別研究員、東海大学非常勤講師



仲安真康と初期関東水墨画

Rio Aaron リオ、アーロン (アメリカ)

所属：コロンビア大学 / 学習院大学
専門分野：日本美術史
現職：学習院大学文学部客員研究員



臭素系難燃剤 HBCD の環境動態と
包括リスク評価に関する研究

呉 正根 オ・ジュングン (韓国)

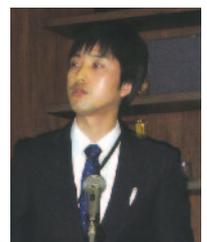
所属：横浜国立大学
専門分野：環境リスクマネジメント



潰瘍性大腸炎

鄭 秀 てい・しゅう (中国)

所属：東京医科歯科大学
専門分野：博士<消化器病態学>
現職：東京医科歯科大学消化器内科
外国人研究者



高効率 Si 太陽電池のリン及び
ボロン拡散へのスクリーン印刷技術の応用

Uzum Abdullah

ウズム・アブドゥラ (トルコ)

所属：東京農工大学
専門分野：情報工学



アクセルペダル反力制御による
触覚的車速誘導システムの開発

尹 飛龍 イン・フェイロン (中国)

所属：東京農工大学
専門分野：博士<機械システム工学>
現職：井関農機 (株)



周作人における日本文化受容の研究

韓 玲姫 かん・れいき (中国)

所属：筑波大学
専門分野：博士<情報メディア>
現職：浙江越秀外国语学院東方言語学院
日本語学部日本語教師



歴史教科書に見える
日本支配下の『満州』における
アイデンティティ形成政策

Flick Ulrich

フリック、ウルリッヒ (ドイツ)

所属：ハイデルベルグ大学 / 早稲田大学
専門分野：東アジア研究



ラクーン会



毎年世界各地で開催されている渥美奨学生の同窓会、通称「ラクーン会」。2012年度は東京と北京で開催された。

6月14日(木) ミニラクーン会 in 東京

於：新宿西口 居酒屋「土風呂」

プリンストンから来日中のマティアスさん(2010 狸)、カーネギーメロン大学にポストドクが決まったイヴゲニさん(2010 狸)を囲んで、ミニラクーン会を開催した。



8月29日(水) ラクーン会 in 東京

於：鹿島新館・渥美財団ホール

アブダビのザイド大学で日本美術史を教えているミッシェルさん(1995 狸)が、学生さんと一緒に来訪。学生さんはザイド大学の日本クラブについて、財団側はマキトさん(1995 狸)とリオさん(2012 狸)がそれぞれ日本経済、日本美術の発表を行なった。



9月18日(火) 中国ラクーン会 in 北京

於：北京大学勺園7号楼2階淑春庁

翌日に予定していたチャイナフォーラムは、日本の尖閣諸島国有化に続く反日デモ情勢のなか残念ながら中止となってしまったが、「こういう時こそ民間交流」を合言葉にラクーン会を開催。金熙さん(1995 狸)、孫建軍さん(2002 狸)、于さん(孫建軍さん自慢の学生)、朴貞姫さん(2003 狸)、李成日さん(2006 狸)、ネメフジャルガルさん(2008 狸)、宮崎幸雄さん、今西淳子常務理事が集まり、多岐にわたる話題で盛り上がった。



詳細は AISF ニュース <http://www.aisf.or.jp/jp/> 2012.09.20 ラクーン会 in 北京 2012 参照

国際交流事業

世 界各国から渡日し、長い留学生活を経て日本の大学院から博士号を取得した知日派外国人研究者が中心となって、個人や組織がグローバル化にたちむかうための方針や戦略をたてる時に役立つような研究、問題解決の提言を行い、その成果をフォーラム、レポート、ホームページ等の方法で、広く社会に発信しています。この国際交流事業を実施する組織が「関口グローバル研究会」(SGRA・セグラ)です。

SGRA は、ある一定の専門家ではなく、広く社会全般を対象に、幅広い研究領域を包括した国際的かつ学際的な活動を狙いとしています。研究テーマごとに、多分野多国籍の研究者が研究チームを編成し、広汎な知恵とネットワークを結集して、多面的なデータから分析・考察して研究を行っています。

海外拠点における研究交流活動

現 在5つの海外拠点が継続的に活動中。2012年度は5ヶ国で6回のフォーラム・シンポジウムを開催しました。また、日本に留学した人、日本に関心のある人が集まる場として「アジア未来会議」を開催しました。

- 1) 日韓アジア未来フォーラム **2001年開始**
→第12回日韓アジア未来フォーラム開催 p 15
 - 2) 日比共有型成長セミナー **2004年開始**
→第14回日比共有型成長セミナー開催 p 16
→第15回日比共有型成長セミナー開催 p 16
 - 3) SGRA チャイナ・フォーラム **2006年開始**
→2012年度は開催中止
 - 4) ウランバートル日モ国際シンポジウム **2008年開始**
→第5回ウランバートル日モ国際シンポジウム開催 p 14
 - 5) SGRA 台湾フォーラム **2011年開始**
→第2回日台アジア未来フォーラム開催 p 13
- ◎ 第一回アジア未来会議 **2013年開始**
→第1回アジア未来会議開催 p 17

国内における研究交流活動

従 来のSGRAフォーラムに加え、2012年度から新しい4つの活動、2)～5)がスタートしました。

- 1) SGRA フォーラム
→第44回 SGRAフォーラム in 蓼科 開催 p 21
※SGRAフォーラムの企画・運営は、下記の7つの研究チームが担当しています。
①グローバル化と地球市民、②環境・エネルギー、③ITと教育、④東アジアの人材育成、⑤東アジアの安全保障と世界平和、⑥宗教と現代社会、⑦構想アジア
- +
- 2) SGRA スタディツアー
→第一回SGRAスタディツアー開催 p 22
 - 3) SGRA ワークショップ
→第1回SGRAワークショップ開催 p 22
 - 4) SGRA カフェ
→第1回～第3回SGRAカフェ 開催 p 23
 - 5) GVJ Colum Contest 2011-2012 p 24

SGRAの概要



■ 目的・事業

本会は、「地球市民の実現」という共通の理念に基づき、一般社会・教育・文化など様々な問題について、学際的、国際的、かつ多元的な発想の研究成果を創造し、それらを素に政策の立案、提言、実践支援及びその普及を通じて、地球市民の将来を考え、価値ある利益の増進と良き社会の発展に努めることを目的としています。

この目的を達成するため、研究会の開催、情報提供活動、普及・啓発活動、政策提言活動、その他「地球市民の実現」にかかわる活動を行います。

■ 会員

本会は、本会の目的に賛同し、共に行動あるいはこれを支援しようとする賛助会員（法人と個人）、および特別会員、メール会員をもって構成されています。

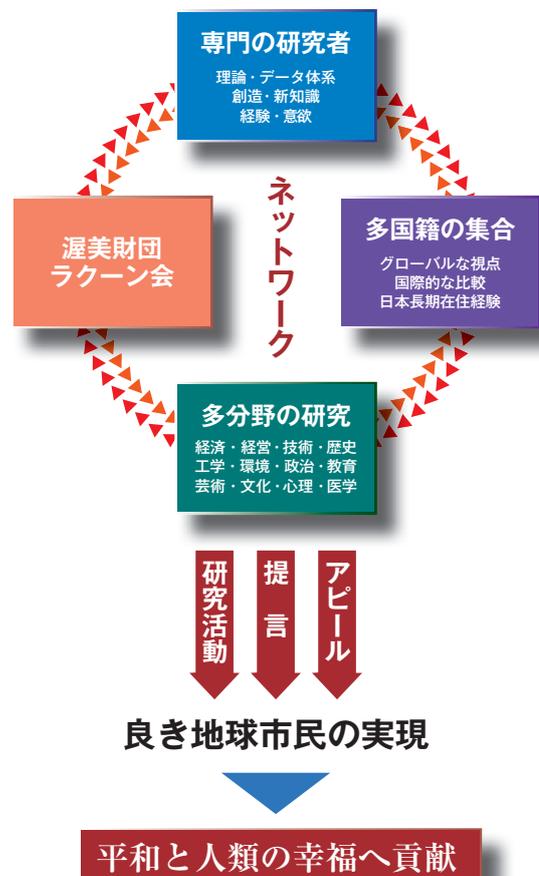
1. 賛助寄附者を賛助会員と呼称します。本会の年次報告、SGRA レポート、SGRA かわらばんの配送を受けることができます。
2. 特別会員は運営委員会により指名されます。本会の年次報告、SGRA レポート、SGRA かわらばんの配送を受けることができます。
3. メール会員は原則本人からの自動登録・退会となりますが、運営委員会の承認を必要とします。SGRA かわらばんの配信を受けることができます。

■ 運営体制

本会は、渥美財団の基本財産運用益と法人・個人からの寄附金、諸機関から各プロジェクトへの助成金、その他の収入を運営資金とし、運営委員会、研究チーム、プロジェクトチーム、編集チームによって活動を推進しています。

1. 運営委員会は、本会の運営に関する重要事項について決議します。
2. 研究チームは、研究員により構成し、必要に応じて他の参加を求め、メンバーの意見を反映させて事業を遂行し、広く情報提供を行います。
3. プロジェクトチームは、主に海外拠点プロジェクトにおいて個別案件の時限組織として編成されます。
4. 編集チームは、編集委員をもって構成し、レポートの編集、発行を行います。

SGRA の特徴



第2回 日台アジア未来フォーラム

—東アジアにおける企業法制的継受及びグローバル化の影響—

日程：2012年5月19日（土）

会場：国立台湾大学法律学院 霖澤館1階国際会議場

共同主催：渥美国際交流財団関口グローバル研究会（SGRA）

国立台湾大学法律学院

台湾法学会

後援：台湾日本人・日台交流部会

協賛：中鹿營造（股）有限公司、常在国際法律事務所、萬国法律事務所

法制史の観点から東アジアにおける各国の企業法制的継受の状況をたどり、さらに、グローバル化の影響による関連法制の変容を明らかにする目的で開催。日本・台湾をはじめ東アジア各国の若手・中堅の法学者や実務家を招き、西洋法制の継受、第二次大戦後、グローバル化、という3つの時期に分けて、各国の企業法制の特徴や各国間の相関関係について報告を行なった。



基調講演として、「会社法はどこへ」および、「社外取締役制度から見た外国法の移植」の二つを設定。



各セッションごとに3名の学者の報告が行なわれた。第一セッションのテーマは「西洋法の継受期のアジア各国における企業法制」。



第二セッションのテーマは「第二次世界大戦後のアジア各国における企業法制」。



第三セッションのテーマは「グローバル化時代のアジア各国における企業法制」。



閉会後の懇親会場でも、フォーラム時の熱気そのままに、活発な意見交流が行われた。

第2回日台アジア未来フォーラム
論文集も出来上がり、着々と成果
が積み重なっていく。



詳細は SGRA ニュース <http://www.aisf.or.jp/sgra/active/news/>
第2回日台アジア未来フォーラム報告 参照

第5回 ウランバートル日モ国際シンポジウム

チンギス・ハーンとモンゴル帝国—歴史・文化・遺産—

日程：2012年7月24（火）～26日（木）

会場：モンゴル・日本人材開発センター（モンゴル国ウランバートル市）

主催：渥美国際交流財団関口グローバル研究会（SGRA）、モンゴル科学アカデミー国際研究所、モンゴル科学アカデミー歴史研究所

後援：モンゴル科学アカデミー、在モンゴル日本大使館、モンゴル・日本人材開発センター、モンゴルの歴史と文化研究会、イフ・ザサグ大学国際関係学院、モンゴル・ニューステレビ局（MNCTV）

ユーラシア大陸をまたぐ世界史上最大のモンゴル帝国を築いたチンギス・ハーン。その生誕 850 周年に当たる 2012 年、近年の学界の最新の研究成果を総括し、歴史・文化・遺産の三つの視点からチンギス・ハーンとモンゴル帝国をアプローチし、広い視野から、特色ある議論を展開する目的で、本フォーラムを開催。再評価されつつあるチンギス・ハーンとモンゴル帝国の謎に迫った。



『国民郵政』、『首都・タイムズ』、『モンゴル通信』、モンゴル国営テレビ局など、新聞やテレビ局十数社に取材・報道された。



第一日目は基調報告の後、5人の発表者が歴史や軍事の視点から、チンギス・ハーンとモンゴル帝国について発表を行なった。



一日目終了後はモンゴル科学アカデミー国際研究所と歴史研究所が、二日目終了後は SGRA が主催の招待宴会が催され、互いに謝意を表した。



モンゴル、日本、中国、韓国、フィリピン、イギリス、ロシア、アメリカ、タイ、台湾などから百名近くの研究者が参加。共同発表も含む 20 本の論文が発表された。



シンポジウム終了の翌 26 日、海外からの参加者は、13 世紀モンゴル帝国のテーマパークなどを見学した。



「モンゴル帝国時代の服」を着て記念写真。「モンゴル帝国」の住人気分を味わった。

詳細は SGRA ニュース <http://www.aisf.or.jp/sgra/active/news/> エッセイ 349：ボルジギン・フスレ「ウランバートル・レポート 2012 夏」参照

第12回 日韓アジア未来フォーラム

ーアジア太平洋時代における東アジア新秩序の模索ー

日時：2013年1月26日（土）

会場：オーストラリア国立大学 ヘドリー・ブル ホール

主催：渥美国際交流財団関口グローバル研究会（SGRA）

共催：オーストラリア国立大学日本研究所

新たな試みとして、既存のアプローチでは排除されがちな「アジア太平洋の視点」を取り入れながら、東アジアの平和と繁栄、そして新しい秩序について考えてみることとなった。歴史問題、領土問題、複合的な経済的相互依存、盛んな人の移動が織り成す複雑な東アジア地域協力の現状を中心に意見を交わした。

【フォーラム】



会場のヘドリー・ブル ホール。オーストラリアは日中韓3国の主要貿易相手国であるだけでなく、地理的にも東南アジアに近い。



6人の研究者による研究報告が行われた。第一セッションは「東アジアの経済成長とその課題について」等。



第二セッションは、「日韓関係の構造変容、その過渡期としての現状、そして解法の模索」「米中両強構図における韓日関係の将来」等。



テッサ先生とサイモン先生がパネル討論の司会を引き受けてくださり、幅広い視座から議論することができた。

【懇談会】



キャンベラ郊外の小さなホテルのプールサイドで懇親会。大きなお皿にでっかいソーセージが2本、ポテトなどが文字通り山盛りで、その量に驚かされた。



翌27日は、メルボルン在住の李済宇さん（2004年奨学生）の案内で市内ツアーへ。写真は戦争記念館の様子。

詳細は SGRA ニュース <http://www.aisf.or.jp/sgra/active/news/>
第12回 日韓アジア未来フォーラム「アジア太平洋時代における東アジア新秩序の模索」報告 参照

第14回・第15回日比共有型成長セミナー

3K（効率・公平・環境）の調和ある発展を目指す、日比共有型成長セミナー。2本の柱となるテーマは「都会・地方の格差」と「製造業」である。

【第14回】「都会・農村の格差と持続可能な共有型成長」

日時：2012年4月26日（木）

会場／共催：フィリピン大学労働・産業連携大学院

主催：渥美国際交流財団関口グローバル研究会（SGRA）

協力：フィリピン大学建築学部、フィリピンの水道・下水・衛生センター、
フィリピン大学機械工学部

都会への過剰な労働移動をいかに抑え、公平性と環境性を高めることができるか、というフィリピン社会の大きな問題について、建築学部、工学部、政府、市民団体の代表者によって学際的に検討した。



たくさんの方々のご支援のおかげで、これまでのセミナーを大きく上回る成果を得た。成果の一つは、参加者の人数（84人が登録）と分野の広さである。発表論文は計25を数えた。



開会式後、参加者は建築学と社会科学との2つのパラレル・セッションに分かれた。建築学は「持続可能な環境と防災」、社会科学は「水資源管理と農業・貧困」がテーマ。

詳細は SGRA ニュース <http://www.aisf.or.jp/sgra/active/news/> エッセイ 337：マックス・マキト「マニラ・レポート2012年春」 参照

【第15回】「人と自然を大切に作る製造業」

日時：2013年2月8日（金）

会場／共催：フィリピン大学労働・産業連携大学院

主催：渥美国際交流財団関口グローバル研究会（SGRA）

助成：Litekon Buildtec, La Farge, Boysen Paints

協力：フィリピン大学建築学部、フィリピンの水道・下水・衛生センター

第15回セミナーのテーマ「製造業と3K（効率・公平・環境）」と第14回セミナーのテーマ「都会と農村の格差と3K」を具体的に繋げる点において有意義な会となった。



参加者87名。協賛企業3社。世界各地のSGRAグループが（東京の支援を受けずに）単独で開催しても大成功できることを示した。



今回からパラレルセッションをやめたため、発表論文は14であるが、真の多分野の学際的で国際的なセミナーを享受できた。

詳細は SGRA かわらばん 2013 <http://www.aisf.or.jp/sgra/active/sgra2013/>
エッセイ 368：マックス・マキト、ミカエル・トメルダン「マニラ・レポート2013年冬」 参照

第1回 アジア未来会議



世界の中のアジア—地域協力の可能性—

日時：2013年3月8日（金）～10日（日）
 会場：センタラグランドホテル（タイ国バンコク市ラップラオ）
 主催：渥美国際交流財団関口グローバル研究会（SGRA）
 共催：タマサート大学、北九州市立大学
 後援：日本国文部科学省、在タイ日本大使館、タイ国日本人会、タイ国元日本留学生教会、盤谷日本人商工会議所
 助成：独立行政法人国際交流基金、一般社団法人東京倶楽部
 協力：公益財団法人本庄国際奨学財団、公益財団法人かめのり財団、公益財団法人世界平和研究所、特定非営利活動法人 JAFSA（国際教育交流協議会）、Global Voices from Japan
 協賛：全日本空輸株式会社、株式会社三井住友銀行、中外製薬株式会社、株式会社伊藤園、Tostem Thai (Lixil Group)、住友電設株式会社、大気社タイランド、きんでんタイランド、タイ関電工、タイ新菱、西尾レントオール株式会社、タイテック、ラマランド社、鹿島道路株式会社、鹿島建設株式会社、P.T.Senayan Trikary、中鹿造営公司

日本留学経験者や日本に関心のある若手中堅の研究者が一堂に集まり、アジアの未来について語り合う（場）を提供することを目的に、SGRAの新事業として2年以上をかけて準備。10年間で5回の開催を目指す。今回の会議では、初日の公開基調講演以降、8つの招待講演と並行して8つの分科会を同時進行で開催。20か国から332名が参加し、219本の論文が48セッションに分かれて発表された。

次回、第2回アジア未来会議は、
 2014年8月22日（金）～24日（日）バリ島で開催予定。



会場のセンタラグランドホテル（写真左）と英語版ポスター（写真右）。



たくさんの方々の協力を得て実施された（写真左）。開会式直前、大会会長をはじめ壇上で待機する方々（写真右）。

詳細は SGRA ニュース <http://www.aisf.or.jp/sgra/active/news/> 「第1回アジア未来会議無事終了—ありがとうございました」 参照

第1回 アジア未来会議

8日 開会

午前10時、厳かな雰囲気の中で開会式が執り行われた。明石康大会会長の開会宣言の後、主催の渥美国際交流財団と共催の北九州市立大学、タマサート大学を代表して Somkt Lertpaithoon 学長から歓迎の挨拶、佐藤重和在タイ日本大使から祝辞をいただいた。



開会を宣言する明石 康大会会長。



佐藤重和在タイ日本大使より祝辞の言葉を賜る。

8日 公開基調講演

公開基調講演のテーマは「場所の時代」。講師は、世界的な建築家、東京大学教授・隈研吾氏。徹底的に場所にこだわって設計をされてきたご自身の建築作品—その場所でしか手に入らない材料を使い、場所を熟知した職人の手を使い、その地の気候、環境と調和し、人々が本当に必要としている建築、がスクリーンに映し出された。その素晴らしい作品の数々は、会場に詰めかけた1,200人の聴衆を魅了した。



**8日・9日
分科会**

登録参加者は20か国から332人。並行して開催された8つの分科会は8日・9日の二日にわたって行なわれ、48セッション219本の論文が発表された。論文は、自然科学、社会科学、人文科学の割合が66:57:67とバランスよく、多くの学術分野を包括しているにもかかわらず、高いレベルのセッションとなった。



**10日
懇談会**

三日目となる10日(日)には、懇談会「グローバル時代の日本研究の現状と課題」が開催された。問題提起のあと、タイ、ベトナム、インド、韓国、台湾、中国から、日本研究の現状と課題が報告され、4名の指定討論者からは大変興味深いコメントが寄せられた。



9日
Farewell Party / 授賞式

9日終了後に開催されたFarewell Partyでは、明石康大会会長の閉会宣言のあと、優秀論文賞、優秀発表賞、優秀ポスター賞の授賞式が賑やかに行なわれた。最後にインドネシア、バリ島のウダヤナ大学より、第2回アジア未来会議のプロモーションがあった。



選考について語る平川均学術委員会委員長。



ウダヤナ大学によるプロモーション。



会議開催に先立ち、12月31日までにオンライン投稿された146本の論文のうち、22本が優秀論文賞に選ばれたほか、48セッションより1名ずつ選ばれた48名が優秀発表賞、15のポスターの中から選ばれた3つが優秀ポスター賞を受賞。



今回の会議のために作られたAFCグッズ(写真左)と、受賞者に手渡された表彰状(写真右)。受賞者への記念品としても利用された。手首に巻いて持ち運べるUSBメモリが好評。

第44回 SGRA フォーラム in 蓼科

—21世紀型学力を育むフューチャースクールの戦略と課題—

日時：2012年7月7日（土）

会場：東京商工会議所蓼科フォーラム研修室 A

主催：国際フォーラム「21世紀型学力を育むフューチャースクール」実行委員会

共催：渥美国際交流財団関口グローバル研究会（SGRA：セグラ）

助成：鹿島学術振興財団

協力：東京商工会議所

SGRA「人材育成」研究チームが担当するフォーラム。

世界最先端をいく韓国とシンガポールを中心にそれぞれの国の経験と現状について議論を交わす場を提供。学びのイノベーションに関する理解と交流を深めつつ、フューチャースクールの今後の方向性について考え、意見を交わした。



「いま学校現場ですごいことが起きている！」。人材育成チームのチーフ、シム・チュンキャット氏のシンガポール調査が今回のフォーラムの発端だった。



基調講演は、情報を正しく扱う能力、自分で考える力を育てる人間の育成の重要性、日本における「学びのイノベーション」がテーマ。



午後は国を挙げてフューチャースクール構想を強力に推進している韓国とシンガポールの実践例、日本の取り組みなどを伺った。



5名の講演者による講演が終了し、クライマックスのパネルディスカッションへ。フロアからの挙手が絶えないほど熱い議論が続く。



より多くの視点からフューチャースクールの現状と今後について議論する場を提供。多方向から意見を交わすことができた。



夜の懇親会では蓼科の豊かなネイチャーに囲まれ、おいしいお酒と美味なお料理を堪能しながら談笑した。

詳細は SGRA ニュース <http://www.aisf.or.jp/sgra/active/news/>

シム・チュンキャット「第44回 SGRA フォーラム in 蓼科「21世紀型学力を育むフューチャースクールの戦略と課題」報告」参照。

第1回 SGRA スタディツアー

—飯館村に行ってみよう—

日時：2012年10月19日（金）～21日（日）
 場所：福島県相馬市、飯館村
 主催：渥美国際交流財団関口グローバル研究会（SGRA）
 協力：ふくしま再生の会



参加者は SGRA らしく、韓国からわざわざ来日した2名、シンガポール、ノルウェイ、台湾、中国出身の会員、渥美財団関係者など総勢14名。



田尾さん達が作った飯館村再生モデル事業の「イネ栽培試験田」。稲には放射線量がたくさん含まれているため、「一粒とも残さず国に納めよ」と国から指示が出ているという。



詳細は SGRA ニュース <http://www.aisf.or.jp/sgra/active/news/> 第1回 SGRA スタディツアー「飯館村へ行ってみよう」報告 参照

第1回 SGRA ワークショップ

〈当事者〉とは何か —公共哲学、歴史学、社会学からの問いかけ—

日時：2012年8月30日（木）
 会場：渥美国際交流財団ホール
 共催：学際的公共問題研究会 (Interdisciplinary studies on public issues)
 渥美国際交流財団関口グローバル研究会（SGRA）

戦争の記憶と和解（歴史学）、社会的差別やマイノリティと改革（社会学、政治学）、難病患者や被災者とのかかわり（医療社会学）、犯罪被害者とのかかわり（心理学）、いじめなど様々な教育問題（教育学）等々、さまざまな問題群の中で、当事者は誰であり、そうした方々とうかがわれるのか。さまざまな観点から討論が行なわれた。



青山学院大学非常勤講師の洪ユンシン氏（2008 奨学生）は、かつて沖縄にあった「慰安所」をテーマに問題を提起した。



休憩を挟んで、討議の時間に突入。難しいテーマながら参加者の関心は高い。

第1回～第3回 SGRA カフェ

会場：寺島文庫 1階みねるばの森

主催：渥美国際交流財団関口グローバル研究会（SGRA）

SGRA カフェは良き地球市民の実現をめざす（首都圏在住の）みなさんに気軽にお集まりいただき、講師のお話を伺い議論をする場である。10月に第1回目を催し、年度末までに3回開催した。

【第1回】SGRA カフェ 「最近の日韓外交摩擦をどうみるか」

日時：10月18日（木）

講師：李元徳（韓国国民大学日本研究所所長）

記念すべき第1回のテーマは「最近の日韓外交摩擦をどうみるか」。李大統領のシマ訪問から始まった一連の日韓対立の展開を多様な角度から分析、今後の展望を探るための話し合いとなった。



寺島文庫は「4万冊の世界の地歴に関わる書物を集積し、知の交流と発信の場」にするべく設立された。知的でお洒落な雰囲気。



「二国関係だけでなく、世界の中での日韓関係として考え、日韓が未来東アジア共同体京成の共同主役になるべき」と李氏。

詳細は SGRA ニュース <http://www.aisf.or.jp/sgra/active/news/>
第1回 SGRA カフェ「李元徳 最近の日韓外交摩擦をどうみるか」報告 参照

【第2回】SGRA カフェ 「福島をもっと知ろう」

日時：12月6日（木）

講師：菅野宗夫（ふくしま再生の会福島事務所所長）

2回目は、10月に開催された「飯舘村スタディツアー」の体験をふまえ、飯舘村から菅野宗夫氏をお招きした。飯舘村の話を直接伺い、福島の問題を考える「場」となった。



スタディツアー「飯舘村へ行こう」参加者の報告から始まった第2回。マスコミからの福島情報とは違う一面を知ることができた。



3階講義室へ移動し、菅野氏の話聞く。「原発問題の最も恐ろしいことは、気持ちが一つになれないことだ」と菅野氏。

詳細は SGRA ニュース <http://www.aisf.or.jp/sgra/active/news/>
エッセイ 360：朴 炫貞「第2回 SGRA カフェ報告：まずは知ることが大事な、福島飯舘村からのメッセージ」参照

【第3回】SGRA カフェ 「アラブの春とシリアにおける人道危機」

日時：3月23日（土）

講師：ダルウィッシュ・ホサム（アジア経済研究所中東研究グループ研究員）

シリアの出身のホサム氏（2009 奨学生）に講師役を務めてもらい、日本、アメリカ、韓国、中国、トルコから集まった会員同士、シリアの情勢について議論した。



シリアは中心と周辺で、経済格差や地域性、教育の程度などが異なる。若者の失業率は中東のなかでも深刻な状況だ。



シリアの歴史と今を語るホサム氏。現アサド大統領は、軍事クーデターで大統領に登り詰めた父より残酷な人権蹂躪の道を選んだ。

詳細は SGRA かわらばん 2013 <http://www.aisf.or.jp/sgra/active/sgra2013/エッセイ371>：洪ユン伸「ダルウィッシュ・ホサムさんの講演を聞いて」 参照

国内

GVJ (Global Voices from Japan)

Column Contest 2011 - 2012 表彰式

日時：2012年12月7日（金）

場所：京都市国際交流会館

主催：GVJ 実行委員会

共催：渥美国際交流財団関口グローバル研究会（SGRA）

後援：共同通信社、経済同友会ほか

GVJは、留学生、日本留学経験者、日本やアジアに関心のある世界の若い世代のオピニオンや情報（News）を発信すると共に、多言語・双方向のInternet機能を生かして、アジア・地球社会に生起する様々な課題を「問いかけ」、「対話し」、「哲学する」メディアを目指すInternet Broadcasting Systemです。



受賞者の皆さんと記念撮影。優秀コラムは4言語に翻訳、GVJウェブページで公表する。

「外国人の見る日本」コラムコンテスト(2011-2012)を共催。最終審査委員会（座長・明石康GVJ評議委員会議長）により、優秀作3点（賞金各10万円）及び佳作6点（賞金各5万円）を選定。表彰式および交流茶話会を開催した。

《佳作 SGRA 賞》は以下2点

『A memorial ceremony in August—The day of Yanus』

（『8月6日の慰霊祭—ヤヌスの日』）

尹康在（ユン・カンジェ）
[韓国]

同志社大学日本語・
日本文化センター



『Invisible moon:the situation of Brazilians in Japan』

（『見えざるお月様：
在日ブラジル人の現状』）

新谷光アルベルト
[ブラジル]

京都大学大学院人間・
環境学研究科



詳細は GVJウェブページ <http://www.glovoices.com/> 参照

財団運営

2012年度 業務日誌

4月5日	4月例会（於：学習院・目白倶楽部）
26日	第14回日比共有型成長セミナー「都会・農村の格差と持続可能な共有型成長」（於：フィリピン大学）
5月9日	5月例会：個人面談（13日まで）
5月12日	第4回理事会（於：鹿島新館）
19日	第2回日台アジア未来フォーラム「東アジアにおける企業法制的継受およびグローバル化の影響」（於：国立台湾大学法律学院国際会議場）
6月1日	2011年度年報発行
1日	第2回評議員会（2011年度事業報告と決算報告）・懇親会（6月例会）（於：KIビル）
7月1日	募集要項配布開始（関東地方の大学に通知、ホームページに掲載）
6日	蓼科リクリエーション旅行（8日まで）
7日	第44回SGRAフォーラム in 蓼科「21世紀型学力を育むフューチャースクールの戦略と課題」（於：東京商工会議所蓼科フォーラム）SGRAレポート# 65
20日	8月例会：池袋防災館見学・納涼会（於：トルコ料理 Resal 池袋店）
24日	第5回ウランバートル日モ国際シンポジウム「チンギス・ハーンとモンゴル帝国——歴史・文化・遺産」（於：ウランバートル モンゴル・日本人材開発センター）（26日まで）
8月30日	第1回SGRA ワークショップ共催「<当事者>とは誰か—公共哲学、歴史学、社会学からの問いかけ—」（於：渥美財団ホール）
9月1日	9月例会：個人面談（7日まで）
9月3日	2013年度奨学生応募受付（28日まで）
15日	第2回アジア未来会議 in バリ キックオフ会議（於：Cita Cita 丸ビル）
9月17日・19日	第7回SGRA チャイナフォーラム中止
28日	2013年度奨学生応募締め切り（応募者総数 139名）
10月3日	10月例会：食事会（於：ドイツワインセラー ラインガウ四谷店）
8日	2013年度奨学生書類審査
18日	第1回SGRA カフェ「李元徳：最近の日韓外交摩擦をどうみるか」（於：寺島文庫みねるばの森）
19日	第1回SGRA スタディツアー「飯館村へ行ってみよう」（21日まで）
31日	2013年度奨学生候補者予備面接（11月6日まで）
11月1日	渥美奨学生の集い「日英戦後和解（1994年—1998年）—沼田貞昭元カナダ大使をお迎えして—」SGRAレポート# 66 編集中
24日	2013年度奨学生最終選考委員会
12月3日	12月例会：個人面談（7日まで）
6日	第2回SGRA カフェ「福島をもっと知ろう」（於：寺島文庫みねるばの森）
7日	Global Voices from Japan 共催
12日	第5回理事会（於：アルカディア市ヶ谷（私学会館））
1月12日	1月例会：新年会（於：渥美財団ホール）
1月26日	第12回日韓アジア未来フォーラム「アジア太平洋時代における東アジア新秩序の模索」（於：オーストラリア・キャンベラ オーストラリア国立大学ヘドリー・ブルホール）SGRAレポート# 67 編集中
2月1日	2月例会：個人面談（7日まで）
8日	第15回日比共有型成長セミナー「人と自然を大切に作る製造業」（於：フィリピン大学）
16日	第6回理事会（2013年度事業計画と収支予算）（於：鹿島新館）
3月2日	3月例会：2012年度奨学生研究報告会（於：渥美財団ホール）
8日	第1回アジア未来会議（AFC）in バンコク（於：タイ・バンコク市ラッププラオ センタラグランドホテル）（10日まで）
18日	2012年度奨学生最後の食事会（於：ホテルイースト21 東京「中国料理・桃園」）
23日	第3回SGRA カフェ『アラブの春とシリアにおける人道危機』（於：寺島文庫みねるばの森）

財務諸表

貸借対照表

2013年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額
I 資産の部	
1 流動資産	8,948,937
2 固定資産	
(1) 基本財産	1,506,400,000
(2) 特定資産	144,750,423
固定合計	1,651,150,423
資産合計	1,660,099,360
II 負債の部	
1 流動負債	415,812
2 固定負債	3,570,000
負債合計	3,985,812
III 正味財産の部	
1 指定正味財産	1,651,150,423
(うち基本財産への充当額)	1,506,400,000
(うち特定資産への充当額)	144,750,423
2 一般正味財産	4,963,125
正味財産合計	1,656,113,548
負債及び正味財産合計	1,660,099,360

正味財産増減計算書

2012年4月1日から2013年3月31日まで

(単位：円)

科 目	金 額
I 一般正味財産増減の部	
1. 経常損益の部	
(1) 経常収益	
基本財産運用益	26,623,053
特定資産運用益	5,083,779
事業収入	10,025,090
受取補助金等	2,576,000
受取寄附金	36,281,011
雑収益	377,491
経常収益計	80,966,424
(2) 経常費用	
事業費	96,667,412
管理費	5,015,546
経常費用計	101,682,958
評価損益等調整前当期経常増減額	▲ 20,716,534
当期経常増減額	▲ 20,716,534
2. 経常外損益の部	
(1) 経常外収益	5,107,946
当期経常外増減額	5,107,946
当期一般正味財産増減額	▲ 15,608,588
一般正味財産期首残高	20,571,713
一般正味財産期末残高	4,963,125
II 指定正味財産増減の部	
受取寄附金	83,962,969
固定資産受贈益	25,795,800
基本財産運用益	26,623,053
特定資産運用益	5,083,590
基本財産評価益	16,000,000
特定資産評価益	8,949,600
基本財産評価損	▲ 3,600,000
特定資産評価損	▲ 1,290,000
一般正味財産への振替額	▲ 51,334,589
当期指定正味財産増減額	110,190,423
指定正味財産期首残高	1,540,960,000
指定正味財産期末残高	1,651,150,423
III 正味財産期末残高	1,656,113,548

財団人名簿

(2013年4月1日現在)

評議員

渥美直紀	鹿島建設株式会社代表取締役副社長
明石 康	公益財団法人国際文化会館理事長
渥美雅也	一般財団法人東京水産振興会専務理事
蟻川芳子	日本女子大学名誉教授・理事・評議員
岩崎統子	公益社団法人 CISV 日本協会副会長
加藤秀樹	構想日本代表
佐藤直子	公益社団法人プロテニス協会理事長
田村次朗	慶應義塾大学法学部教授
遠山友寛	TMI 総合法律事務所パートナー
永山 治	中外製薬株式会社代表取締役会長
堀田健介	グリーンヒル・ジャパン取締役会長
水谷 弘	専修大学名誉教授
宮崎裕子	長島・大野・常松法律事務所パートナー
八城政基	元株式会社新生銀行取締役社長
山本尚子	公益財団法人伊藤謝恩育英財団常務理事

監事

石井茂雄	石井公認会計士事務所所長
上野 宏	一般社団法人信託協会専務理事

理事

渥美伊都子	理事長、公益社団法人 CISV 日本協会会長
今西淳子	常務理事
秋山 豪	鹿島建設株式会社顧問
高 偉俊	北九州市立大学国際環境工学部教授
片岡達治	元癌研究会癌化学療法センター主任研究員
金 外淑	兵庫県立大学看護学部心理学系教授
嶋津忠廣	事務局長
角田英一	アジア 21 ネットワークス代表
平川 均	国士館大学 21 世紀アジア学部・大学院グローバルアジア研究科教授
李 恩民	桜美林大学リベラルアーツ学群教授

選考委員

畑村洋太郎	委員長、東京大学名誉教授、畑村創造工学研究所（産業機械工学）
井上博允	東京大学名誉教授、元日本学術振興会監事（情報工学）
片岡達治	（理事）（薬学）
佐野みどり	学習院大学文学部教授（美術史）
田村次朗	（評議員）（法学）
平川 均	（理事）（経済学）

奨学生名簿

【1995年度奨学生】

Bambling, Michele バンプリング、ミッシェル [アメリカ] 女: コロンビア大学/慶應義塾大学 [博士] (美術史): Zayed 大学教授 (在アブダビ)

Gao Lingna 高玲娜 [中国] 女: 一橋大学 [博士] (社会学): (在横須賀)

Gao Weijun 高偉俊 [中国] 男: 早稲田大学 [博士] (建設工学): 北九州市立大学国際環境工学部教授、西安交通大学兼職教授 (在北九州)

Jin Xi 金熙 [中国] 男: 東京工業大学 [博士] (物理情報学): Sheerwood 科技発展有限公司社長 (在北京)

Kwack Jae-Woo 郭在祐 [韓国] 男: 学習院大学 [博士] (美術史): 日本大学文学部、学習院大学文学部非常勤講師

Maquito, Ferdinand マキト、フェルディナンド [フィリピン] 男: 東京大学 [博士] (経済学): テンプル大学講師

Park Chul-Ju 朴哲主 [韓国] 男: 慶應大学 [博士] (商学): 三育大学経営学部副教授 (在ソウル)

Park Jung-Ran 朴貞蘭 [韓国] 女: 日本女子大学 [博士] (社会福祉学): 仁済大学社会福祉科副教授 (在釜山)

Shi Jianming 施建明 [中国] 男: 筑波大学 [博士] (数理工学/社会学): 東京理科大学経営学部教授

Yao Hui 葉会 [中国] 男: 早稲田大学 (日本文学): 法政大学国際文化情報学部非常勤講師

Youn Seok-Hee 尹錫姫 [韓国] 女: 専修大学 [博士] 商学: 仁徳大学観光学部非常勤講師 (在ソウル)

○阪神大震災被災特別奨学生

Chen Xiao 陳曉 [中国] 男: 神戸大学 (医学)

Hong Der-Juinn 洪徳俊 [台湾] 男: 神戸大学 [博士] (経営学): 国立中央大学企業管理系副教授 (在台湾桃園)

Wang Libin 王立彬 [中国] 男: 神戸大学 (自然科学): (株) 東洋インキ製造 (在上海)

【1996年度奨学生】

Chantachote, Viravat チャンタチャテ ビラバット [タイ] 男: 慶應義塾大学 [博士] (法学): タマサート大学法学部准教授 (在バンコク)

Gulench, Selim Yucel グランチ、セリム [トルコ] 男: 東京大学 (政治学): 宗教法人京都ムスリム協会理事、イスラーム文化センター代表 (在京都)

Khin Maung Htwe キン マウン トウエ [ミャンマー] 男: 早稲田大学 [博士] (応用物理): (在ヤンゴン)

Kim Woong-Hee 金雄熙 [韓国] 男: 筑波大学 [博士] (国際政治経済学): 仁荷大学国際通商学部教授 (在仁川)

Lee Nae-Chan Huey 李來贊 [韓国] 男: 慶應義塾大学 [博士] (管理工学): 漢城大学経済学部副教授 (在ソウル)

Nam Ki-Jeong 南基正 [韓国] 男: 東京大学 [博士] (国際関係論): ソウル大学日本研究所 HK 教授 (在ソウル)

Park Keun-Hong 朴根弘 [韓国] 男: 東京工業大学 [博士] (生命理工学)

Qiao Xin 喬辛 [中国] 男: 東京工業大学 [博士] (無機材料工学)

Trede, Melanie Maria トレーダ、メラニー [ドイツ] 女: ハイデルベルグ大学/学習院大学 [博士] (日本美術史): ハイデルベルグ大学東洋美術史研究所教授 (在ハイデルベルグ)

Zhao Qing 趙青 [中国] 女: お茶の水女子大学 (比較文化)

Zhu Tingyao 朱庭耀 [中国] 男: 東京大学 [博士] (船舶海洋工学): 日本海事協会技術研究所首席研究員/ハルビン工科大学客員教授

【1997年度奨学生】

De Maio, Silvana デマイオ、シルバーナ [イタリア] 女: 東京工業大学 [博士] (日本語学): ナポリ大学オリエンターレ専任講師 (在ナポリ)

Fang Meili 方美麗 [台湾] 女: お茶の水女子大学 [博士] (言語学): (在ロンドン)

Isananto, Winurshito イサナント、ウィヌルシト [インドネシア] 男: 慶應義塾大学 [博士] (応用化学): インドネシア工業省マナド工業規格研究所

Kim Woe-Sook 金外淑 [韓国] 女: 早稲田大学 [博士] (健康科学):

兵庫県立大学看護学部心理学系教授 (在神戸)

Katagiri, LaohaburanakitKanokwan (Noi) 片桐カノックワン、ラオハブナキット (ノイ) [タイ] 女: 筑波大学 [博士] (言語学/日本語教育): チュロンコン大学文学部日本語講座准教授 (在バンコク)

Lee Hyang-Chul 李香哲 [韓国] 男: 一橋大学 [博士] (経済学): 光云大学日本学科教授 (在ソウル)

Li Enmin 李恩民 [中国] 男: 一橋大学 [博士] (社会学): 桜美林大学リベラルアーツ学群教授

Nizamidin Jappar ニザミディン ジャッパル [アメリカ] 男: 東京大学 [博士] (応用化学): キモト・テック (在米ジョージア)

Wang Yuepeng 王岳鵬 [中国] 男: 東京大学 [博士] (医学): 上海交通大学医学院附属華山病院科研中心 (在上海)

Williams, Duncan ウィリアムズ、ダンカン [イギリス] 男: ハーバード大学/上智大学 [博士] (宗教学): 南カルフォルニア大学宗教学部長 (在ロサンゼルス)

Zhang Shao-min 張紹敏 [中国] 男: 東京大学 [博士] (医学): ペンシルベニア州立大学医学部神経と行動学助教授 (在米ハーシー)

【1998年度奨学生】

Adiole, Emmanuel アディオレ、エマニユエル [ナイジェリア] 男: 東京大学 [博士] (政治学): ナイジェリア・エネルギー環境研究所主任研究員 (在ナイジェリア)

Cao Bo 曹波 [中国] 男: 早稲田大学 [博士] (建設工学): 株式会社北京 NTT データジャパン

He Zuyuan 何祖源 [中国] 男: 東京大学 [博士] (先端学際工学/光電子工学): 上海交通大学光ファイバー技術国家重点実験室教授 (在上海)

Hu Jie 胡潔 [中国] 女: お茶の水女子大学 [博士] (文学): 名古屋大学大学院国際言語文化研究科教授 (在名古屋)

Kim Jaesung 金宰晟 [韓国] 男: 東京大学 (仏教学): 仏教大学院大学 (在ソウル)

La Insook 羅仁淑 [韓国] 女: 早稲田大学修了、流通経済大学 [博士] (経済学): 国士館大学政経学部非常勤講師

Lee Joo-Ho 李周浩 [韓国] 男: 東京大学 [博士] (電子工学): 立命館大学情報理工学部情報コミュニケーション学科教授 (在滋賀)

Mailisha マイリリーサ [中国 (内モンゴル)] 女: 一橋大学 [博士] (社会学): 立教大学非常勤講師

Sun Yanping 孫艶萍 [中国] 女: 東京大学 [博士] (医学): ハーバード大学ブリッグス病院放射線科准教授 (在ボストン)

Wu Hongmin 呉弘敏 [中国] 女: 東京工業大学 [博士] (精密工学): フクダ電子 (株)

Xu Xiaoyuan 許曉原 [中国] 女: 東京大学 [博士] (農業生命科学): コロンビア大学ナオミペリーセンター研究員 (在ニューヨーク)

【1999年度奨学生】

Coimbra, Maria Raquel Moura コインブラ、マリア・ハケウ・モウラ [ブラジル] 女: 東京水産大学 [博士] (資源育成学): ペルナンブコ州立大学農水学部応用遺伝子研究室助教授 (在ブラジル)

Hong Kyung-Jin 洪京珍 [韓国] 女: 東京工業大学 [博士] (化学環境工学): 韓国環境省環境部環境政策室化学物質安全課 (在ソウル)

Hou Yankun 侯延昆 [中国] 男: 東京工業大学 [博士] (物理電子化学/薬学): UBS Investment Research (在香港)

Ju Yan 具延 [中国] 男: 筑波大学 [博士] (農学): メッツオペーパージャパン (株)

Li Gangzhe 李鋼哲 [中国] 男: 立教大学 (経営学/経済学): 北陸大学未来創造学部教授 (在金沢)

Musikasinthorn Prachya ムシカシントーン、プラチャー [タイ] 男: 東京水産大学 [博士] (資源育成学): カセサート大学水産学部所助教授 (在バンコク)

Vu Thi Minh Chi ブティミンチー [ベトナム] 女: 一橋大学 [博士] (地域研究): ベトナム社会科学院人間科学研究所研究員 (在ハノイ)

Wang Dan 王旦 [中国] 男: 東京藝術大学 [博士] (音楽): バイオリンリスト/昭光物産 (株)

Yang Jie Chi 楊 接期 [台湾] 男: 東京工業大学 [博士] (教育学): 国立中央大学網路學習科技研究所教授 (在台湾桃園)

Yeh Wen-chang 葉 文昌 [台湾] 男: 東京工業大学 [博士] (電子物理工学): 島根大学総合理工学部電子制御システム工学科准教授 (在松江)

Zhou Haiyan 周 海燕 [中国] 女: 東京医科歯科大学 [博士] (医学): たてやまクリニック院長 (在富山県)

[2000年度奨学生]

Jin Zhengwu 金 政武 [中国] 男: 東京工業大学 [博士] (物質科学): 東芝 (株)

Jung Jae Ho 鄭 在皓 [韓国] 男: 慶應義塾大学 [博士] (物質科学): 三星電子 LCD 総括 LCD 開発室 (在韓 CheonAnn)

Jung Sung Chun 鄭 成春 [韓国] 男: 一橋大学 [博士] (経済学): 対外経済政策研究院 (KIEP) (在ソウル)

Ko Hee Tak 高 熙卓 [韓国] 男: 東京大学 [博士] (総合文化): 延世大学政治外交学科学研究教授 (在ソウル)

Lim Chuan-Tiong 林 泉忠 [香港] 男: 東京大学 [博士] (国際政治学): 中央研究院近代史研究所副研究員 (在台北)

Molnar Margit モルナル、マルギット [ハンガリー] 女: 慶應義塾大学 [博士] (経済学): OECD 研究員 (在パリ)

Naiwala Pathirannehelage Chandrasiri ナイワラ パティランネヘラゲ チャンドラシリ [スリランカ] 男: 東京大学 [博士] (電子情報): トヨタ IT 研究センター研究員

Ren Yong 任 永 [中国 (内モンゴル)] 男: 群馬大学 [博士] (医学): ニューヨーク州立大学医学部研究員 (在米パッファロー)

Suzuki Sato Hiromi スズキ サトウ、ヒロミ [メキシコ] 女: 慶應義塾大学 (経済学)

Wu Yuping 武 玉萍 [中国] 女: 千葉大学 [博士] (医学): 理化学研究所 発生・再生科学総合研究センター (CDB) (在神戸)

Xu Xiangdong 徐 向東 [中国] 男: 立教大学 [博士] (社会学): (株) 中国市場戦略研究所代表取締役

Zeng Zhinong 曾 支農 [中国] 男: 東京大学 [博士] (アジア文化): (在武漢)

[2001年度奨学生]

Borjigin, Burensain ボルジギン、ブレンサイン [中国 (内モンゴル)] 男: 早稲田大学 [博士] (東洋史): 滋賀県立大学人間文化学部准教授 (在彦根市)

Fan Jianting 範 建亭 [中国] 男: 一橋大学 [博士] (経済学): 上海財経大学国際工商管理大学院助教授 (在上海)

Jeon Jin Hwan 全 振煥 [韓国] 男: 東京工業大学 [博士] (建築材料): 鹿島建設 (株) 技術研究所主任研究員

Jiang Huiling 蔣 惠玲 [中国] 女: 横浜国立大学 [博士] (電子情報工学): (株) NTT ドコモ・総合研究所研究主任

Jin Xianghai 金 香海 [中国] 男: 中央大学 [博士] (政治学): 延辺大学アジア研究センター教授兼副センター長 (在延吉)

Kostov, Vlaho コストブ、ブラホ [マケドニア/イタリア] 男: 東京都立科学技術大学 [博士] (システム工学): パナソニック・ヨーロッパ社 (在フランクフルト)

Lee Hyun-Young 李 炫瑛 [韓国] 女: お茶の水女子大学 [博士] (比較文化): 建国大学校師範大学日本語教育科助教授 (在ソウル)

Lee Young-Suk 李 英淑 [韓国] 女: 筑波大学 [博士] (教育学): 釜山大学校師範大学数学教育科非常勤講師 (在釜山)

Liang Xingguo 梁 興国 [中国] 男: 東京大学 [博士] (化学生命工学): 中国海洋大学食品科学と工程学院教授 (在青島)

Lwin U Htay ユ ティルイン [ミャンマー] 男: 東京医科歯科大学 [博士] (社会医学及び公衆衛生学): 東京医科歯科大学難治疾患研究所共同研究員

Qi Jin Feng 奇 錦峰 [中国 (内モンゴル)] 男: 東京医科歯科大学 [博士] (薬理学): 広州中医薬大学中薬学院教授 (在広州)

Sri Sumantyo, Josaphat Tetuko スリ スマンティヨ、ヨサファット テトコ [インドネシア] 男: 千葉大学 [博士] (人工システム科学): 千葉大学環境リモートセンシング研究センター教授

[2002年度奨学生]

Baek Insoo 白 寅秀 [韓国] 男: 早稲田大学 [博士] (商学): (在ソウル)

Chen Tzu-Ching 陳 姿菁 [台湾] 女: お茶の水女子大学 [博士] (国際日本学): 開南大学日語学系助理教授、台湾大学兼任助理教授 (在台北)

Jo Gyuhwan 曹 奎煥 [韓国] 男: 早稲田大学 [博士] (地質学): JX 新日鉱日石開発 (株) (在マレーシア)

Hu Biangqun 胡 炳群 [中国] 男: 日本工業大学 [博士] (システム工学): 日豊興業株式会社 (在名古屋/広州)

Iko Pramudiono イコ プラムディオノ [インドネシア] 男: 東京大学 [博士] (電子情報工学): インドネシア三井物産 (在ジャカルタ)

Mandah, Ariunsaihan マンダフ、アリウンサイハン [モンゴル] 男: 一橋大学 [博士] (地域社会学): (在米カンザス)

Mukhopadhyaya Ranjana ムコパディヤヤ、ランジャナ [インド] 女: 東京大学 [博士] (宗教学宗教学): デリ大学・東アジア研究科准教授 (在デリー)

Park Young-June 朴 榮濬 [韓国] 男: 東京大学 [博士] (国際社会科学): 国防大学校安全保障大学院教授 (在ソウル)

Sun Jianjun 孫 建軍 [中国] 男: 国際基督教大学 [博士] (日本語学): 北京大学外国語学院准教授、早稲田大学孔子学院副院長、早稲田大学客員准教授

Wang Xi 王 溪 [中国] 男: 東京大学 [博士] (電子情報工学)

Yimit, Abliz イミテ、アブリズ [中国 (ウイグル)] 男: 横浜国立大学 [博士] (人工環境システム): 新疆大学化学化工学院教授 (在ウルムチ)

Yu Xiaofei 于 曉飛 [中国] 女: 千葉大学 [博士] (社会文化科学): 日本大学法学部准教授

[2003年度奨学生]

Chae Sang Heon 蔡 相憲 [韓国] 男: 東京農工大学 [博士] (生物生産学): 天安蓮庵大学新環境園芸科教授 (在韓国天安)

Chang Kuere 張 桂娥 [台湾] 女: 東京学芸大学 [博士] (学校教育学 (言語文化)): 東呉大学日本語学系助理教授 (在台北)

Husel フスレ [中国 (内モンゴル)] 男: 東京外国語大学 [博士] (地域文化): 昭和女子大学人間文化学部国際学准教授

Kim Hyeon Wook 金 賢旭 [韓国] 女: 東京大学 [博士] (総合文化 (表象文化)): 国民大学国際学部助教授 (在ソウル)

Kwak Jiwoong 郭 智雄 [韓国] 男: 立教大学 [博士] (経営学): 九州産業大学商学部商学准教授 (在福岡)

Lin Shaoyang 林 少陽 [中国] 男: 東京大学 [博士] (総合文化 (言語情報科学)): 香港城市大学中文訳訳及言語学科 (在香港)

Lu Yuefeng 陸 躍鋒 [中国] 男: 東京海洋大学 (海洋情報システム): Merit Intelligence Development Centre, Director (在トロント)

Piao Zhenji 朴 貞姫 [中国] 女: 明海大学 [博士] (応用言語学): 北京語言大学外国語学院日本語学部教授 (在北京)

Tisi, Maria Elena ティシ、マリアエレナ [イタリア] 女: 白百合女子大学 [博士] (児童文学): ポローニャ大学、ペルージャ外国人大学、カタニア大学 (ラゲーザ) 非常勤講師 (在ポローニャ)

Yamaguchi, Ana Elisa ヤマグチ、アナエリーザ [ブラジル] 女: 一橋大学 (社会学): 上智大学外国語学部助教

Yun Hui-suk ユン ヒスク [韓国] 女: 東京大学 [博士] (材料学): 韓国機械研究院付属材料研究所 (KIMS) (在韓慶南道昌原)

Zang LI 臧 俐 [中国] 女: 東京学芸大学 [博士] (学校教育学 (教育方法論)): 東海大学短期大学部准教授

[2004年度奨学生]

Ampong, Beryl Nyamekye アンボン、ベリル・ニヤメケ [ガーナ] 女: 東京医科歯科大学 [博士] (薬理学): (在ワシントン D.C.)

Chin, Angelina Yan Yan チン、アンジェリーナ [アメリカ] 女: カリフォルニア大学サンタクルーズ校/お茶の水女子大学 [博士] (ジェンダー研究): Pomona College 准教授 (在カリフォルニア)

Khomenko, Olga ホメニコ、オリガ [ウクライナ] 女: 東京大学 [博士] (地域文化研究): キエフモヒラアカデミー国立大学文学部歴史学シニア講師 (在キエフ)

Lee Jea Woo 李 济宇 [韓国] 男:早稲田大学 [博士] (地盤地震工学):
Worley Parsons (在メルボルン)

Lee Sung Youn 李 承英 [韓国] 女:筑波大学 [博士] (言語学):光云
大学日本学科 (在ソウル)

Meng Zimin 孟 子敏 [中国] 男:筑波大学 [博士] (言語学):松山
大学人文学部教授 (在松山)

Mullagildin, Rishat ムラギルディン、リシャット [ロシア] (男):
慶応大学 (環境デザイン):RAUM Architects 社長 (在ロシア、ウファ)

Napoleon ナポレオン [インドネシア] 男:東京工業大学 [博士] (機
械制御システム):SMBC 日興証券

Sonntag, Mira ゾンターク、ミラ [ドイツ] 女:東京大学 [博士] (宗
教史学):立教大学文学部キリスト教学科准教授

Tsai Ying-hsin 蔡 英欣 [台湾] 女:東京大学 [博士] (法学):国立台
湾大学法学部助理教授 (在台北)

Yang Myung Ok 梁 明玉 [韓国] 女:お茶の水女子大学 [博士] (人
間発達科学):お茶の水女子大学アカデミック・プロダクション特任リ
サーチフェロー

Ye Sheng 叶 盛 [中国] 男:東京大学 [博士] (先端学際工学):東莞
九域星医薬科技有限公司 (在香港)

[2005 年度奨学生]

Bao Lian Qun 包 聯群 [中国 (内モンゴル)] 女:東京大学 [博士] (言
語情報科学):東京外国語大学アジアアフリカ研究所フェロー、首都大
学東京非常勤講師、中国言語戦略研究センター (南京大学) 客員研究員

Han Junqiao 韓 珺巧 [中国] 女:早稲田大学 [博士] (建築学):国立
ローレンス・バークレー研究所研究員 (在カリフォルニア)

Han Kyoung Ja 韓 京子 [韓国] 女:東京大学 [博士] (日本文化研究):
慶熙大学校日本語学科助教授 (在ソウル)

Jiang Susu 江 蘇蘇 [中国] 女:横浜国立大学 [博士] (物理情報工学):
東芝セミコンダクター社

Kim Bumsu 金 範洙 [韓国] 男:東京学芸大学 [博士] (社会系教育 (歴
史)): (社) 国際交流振興協会理事長、横浜国立大学非常勤講師、(韓国)
国立公州大学客員教授

Kim Yeonkyeong 金 娟鏡 [韓国] 女:東京学芸大学 [博士] (心理学):
鹿児島大学教育学部家政専修准教授 (在鹿児島)

Lan Hong Yueh 藍 弘岳 [台湾] 男:東京大学 [博士] (地域文化研究):
国立交通大学社会と文化研究所副教授 (在台北)

Tenegro, Brenda Resurecion Tiu テネグラ、ブレンダ レスレシ
ョンティウ [フィリピン] 女:お茶の水女子大学 [博士] (人間発達科学):
(在フィリピンセブ島)

Vo Chi Cong ヴォー チー コン [ベトナム] 男:東京工業大学 (数理・
計算科学): (株) トリニティセキュリティシステムズ

Wang Xueping 王 雪萍 [中国] 女:慶応義塾大学 [博士] (政策メディア):
東京大学教養学部准教授

Wong Kin Foon Kevin 王 健歡 [香港] 男:総合研究大学院 [博士] (統
計科学):ハーバード大学医学部MGH病院研究員 (在ボストン)

Zhao Changxiang 趙 長祥 [中国] 男:一橋大学 [博士] (商学):独
立学者 (在上海)

[2006 年度奨学生]

Chu Xuan Giao チュ・スワン・ザオ [ベトナム] 男:東京外国語大学
(文化人類学):ベトナム社会科学文化研究所研究員 (在ハノイ)

Hu Xiuying 胡 秀英 [中国] 女:千葉大学 [博士] (看護教育学):四
川大学華西看護学部華西病院准教授 (在成都)

Hyun Seungsoo 玄 承洙 [韓国] 男:東京大学 [博士] (地域文化):
漢陽大学 HK 教授 (在ソウル)

Li Chengri 李 成日 [中国] 男:慶応義塾大学 [博士] (政治学):中国
社会科学院アジア太平洋・グローバル研究院 (在北京)

Liang Yun-hsien 梁 蘊嫻 [台湾] 女:東京大学 [博士] (比較文化):
元智大学応用外語学科助理教授 (在台北)

Mohottala, Shirmila モホッタラ、シャミラ [スリランカ] 女:東京
大学 [博士] (情報理工学): (在スリランカ)

Pantcheva, Elena Latchezarova パンチュワ、エレナ [ブルガリア] 女:
千葉大学 [博士] (日本研究): (在ブルガリア)

Seo Kyoung Sook 徐 景淑 [韓国] 女:慶応義塾大学 (美学美術史): (在
ソウル)

Sim Choon Kiat シム チュンキヤット [シンガポール] 男:東京大学 [博
士] (教育学):昭和女子大学人間社会学部准教授

Sun Junyue 孫 軍悦 [中国] 女:東京大学 [博士] (言語情報科学):
東京大学教養学部専任講師

Weerasinghe, Nalin ウィーラシンハ、ナリン [スリランカ] 男:電気
通信大学 [博士] (電子工学):シュルンベルジェ (株) 電子エンジニア

Woo Seonghoon 禹 成勲 [韓国] 男:東京大学 [博士] (建築学): (在仁川)

[2007 年度奨学生]

Chan Chai-fong 詹 彩鳳 [台湾] 女:東京大学 (地域文化研究): (在台北)

Deng Fei 鄧 飛 [中国] 男:東京大学 [博士] (先端エネルギー学): 電
力大学特別研究員 (在米デラウェア)

Gangbagana ガンバガナ [中国 (内モンゴル)] 男:東京外国語大学 [博
士] (地域文化研究): 国際教養大学基盤教育助教 (在秋田)

Kim Minsuk 金 政淑 [韓国] 女:早稲田大学 [博士] (建築学): 立命
館大学歴史都市防災研究所専門研究員 (在京都)

Lee Eungyong 李 垠庚 [韓国] 女:東京大学 [博士] (地域文化研究):
ソウル大学日本研究所 HK 研究教授 (在ソウル)

Mijiti, Abuduxukuer メジテ、アブドシュクル [中国 (ウイグル)] 男:
東京医科大学 [博士] (外科学): 新疆ウイグル自治区カシュガル地区第
一人民病院腫瘍センターセンター長 (在カシュガル)

Park Sohyun 朴 昭炫 [韓国] 女:東京大学 [博士] (文化資源学): 韓
国文化観光研究院文化芸術政策担当責任研究員 (在ソウル)

Porras Rojas Oscar ボラス、ロハス オスカル [コスタリカ] 男: 東
京海洋大学 [博士] (応用環境システム学): コスタリカ大学太平洋岸校
副学長 (在コスタリカ、プンタレナス)

Quan Mingai 権 明愛 [中国] 女:日本社会事業大学 [博士] (社会福祉学):
十文字学園女子大学人間生活学部講師

Wang Jian Hong 王 劍宏 [中国] 男:早稲田大学 [博士] (建設工学):
(株) 日本工営中央研究所研究員

Yan Hainian 顔 海念 (大日向美音) [中国] 女:東京大学 [博士] (国
際保健学): (株) 中外製薬安全性データマネジメント部

Yaroslav, Shulatov ヤロスラフ、シュラトフ [ロシア] 男:慶応義塾
大学 [博士] (政治学): 広島市立大学国際学部専任講師 (在広島)

[2008 年度奨学生]

Feng Kai 馮 凱 [中国] 男:東京大学 [博士] (機械工学): 湖南大学機
械学院教授 (在長沙)

Hong Yunshin 洪 ユンシン [韓国] 女:早稲田大学 [博士] (国際関係学):
早稲田大学国際言語文化研究所客員研究員、青山学院大学非常勤講師

Shiohara Vroni Friederike 塩原 フローニ・フリデリケ [ドイツ/ス
イス] (女): 東京藝術大学 [博士] (文化財保存学): トヨタ自動車 (株)

Liu Jian 劉 健 [中国] 女:北京大学/早稲田大学 [博士] (日本語言
文化): 首都師範大学専任講師 (在北京)

Lkhamsuren, Lkhagvasuren ハムスレン、ハグワスレン [モンゴル]
男: 早稲田大学 (国際関係学)

Nemekhjargal ネメフジャルガル [中国 (内モンゴル)] 男:亜細亜大
学 [博士] (経済学): 内モンゴル大学モンゴル学研究所 (在フフ
ホト)

Phuong, Kimchhayarasy プアン、キムチャイヤラシー [カンボジア]
女: 宇都宮大学 [博士] (物性工学): (在東京)

Song Gang 宋 剛 [中国] 男:桜美林大学 [博士] (地域文化): 北京外
国語大学日本語学部専任講師 (在北京)

Võrno, Heli-Liis ヴェルノ、ヘリ リース [エストニア] 女:学習院大
学 (哲学)

Wang Wei 王 偉 [中国] 男:千葉大学 [博士] (人工システム): 信控
学院教授 (在南京)

Xiu Zhen 修 震 [中国] 男:東京工業大学 [博士] (機械制御システム):
セコム株式会社 IS 研究所

Yuk Jaehwa 陸 載和 [韓国] 男:武蔵野美術大学 (造形芸術): 武蔵
野美術大学非常勤講師

Zhang Jian 張 建 [中国] 男:東京大学 [博士] (教育学): (株) ハウ
スメイト企業開発本部

[2009 年度奨学生]

Choi Eunseok 崔 恩碩 [韓国] 男:国民大学/東京大学 [博士] (日本
史学): 駐広島韓国総領事館先任研究員 (在広島)

Darwish, Housam ダルウィッシュ、ホサム [シリア] 男:東京外
国語大学 [博士] (地域文化研究): 日本貿易振興機構 (ジェトロ) アジ
ア経済研究所

Kato Kaba Melek カトウ メレキ [トルコ] 女:筑波大学 [博士] (文芸・言語):白百合女子大学非常勤講師

Kim Youngsoon 金 英順 [韓国] 女:立教大学 [博士] (日本文学):立教大学文学部非常勤講師

Kwak Youngjoo 郭 榮珠 [韓国] 男:千葉大学 [博士] (地球生命圏科学):(独) 土木研究所水災害・リスクマネジメント国際センター (ICHARM) 専門研究員

Kwon Nam-hee 権 南希 [韓国] 女:東京大学 (国際法):関西大学政策創造学部助教 (在大阪)

Rinchin リンチン [中国 (内モンゴル)] 男:東京外国語大学 [博士] (地域文化研究):愛知大学国際中国研究センター日本学術振興会外国人特別研究員 (在愛知県みよし市)

Schicketanz, Erik Christoph シッケタンツ, エリック [ドイツ] 男:東京大学 [博士] (宗教学宗教史学):東京大学大学院人文社会系研究科特別研究員

Shermatov Ulugbek シェルマトフ・ウルグベック [ウズベキスタン] 男:明治大学 [博士] (民事法学):ウズベキスタン最高裁判所上席法務官 (在タシケント)

Son Jounga 孫 貞阿 [韓国] 女:東京大学 [博士] (森林科学):国立山林科学院森林病害虫研究科 (在ソウル)

Veldkamp, Elmer フェルトカンブ, エルメル [オランダ] 男:東京大学 [博士] (文化人類学):ライデン大学日本学研究所専任講師 (在ライデン)

Ye Kyaw Thu イェ チョウ トウ [ミャンマー] 男:早稲田大学 [博士] (国際情報通信学):情報通信研究機構 (NICT) ユニバーサルコミュニケーション研究所研究員 (在京都)

Zhu Lin 朱 琳 [中国] 女:東京大学 [博士] (アジア政治思想史):神奈川大学外国語学部中国語学科助教

[2010年度奨学生]

Phramahachatpong Katapunno プラマハチャッポン [タイ] 男:東洋大学 [博士] (仏教学):タイ国タンマガーイ寺院

Choi Jung Eun 崔 禎恩 [韓国] 女:東京藝術大学 [博士] (文化財保存学):韓国国立民俗博物館研究員 (在ソウル)

Kiatkobchai Siratsanan キャアコブチャイ・スィラッサナン [タイ] 女:学習院大学 [博士] (日本語日本文学):(株)アートボックス

Kim Kyongtae 金 キョンテ [韓国] 男:高麗大学/東京大学 (歴史学):高麗大学校韓国史研究所研究員

Lee Hyun Bon 李 賢凡 [韓国] 男:東京工業大学 [博士] (材料工学):(株) POSCO 研究員 (在韩国全羅南道)

Li Jun 李 軍 [中国] 女:早稲田大学 [博士] (国語教育学):早稲田大学、学習院大学非常勤講師

Lu Liang 盧 亮 [中国] 男:東京工業大学 [博士] (原子核工学):Institute of High Energy Physics (IHEP) (在北京)

Magid, Evgeni マギッド, イヴゲニ [イスラエル/ロシア] 男:筑波大学 [博士] (知能機能システム):プリストル大学プリストルロボット工学研究所 (在英プリストル)

Mya Dwi Rostika ミヤ・ドウィ・ロスティカ [インドネシア] 女:国士館大学 (政治学)

Vigouroux, Mathias Dominique Yves ヴィグル, マティアス [フランス] 男:二松学舎大学 [博士] (中国学):プリンストン大学ポスドク研究院 (在プリンストン)

Wang Xin 王 昕 [中国] 男:東京医科歯科大学 [博士] (先端医療開発学):ローム株式会社 (在京都)

Yoon Jin-Hee ヨジンヒ [韓国] 女:お茶の水女子大学 [博士] (ジェンダー学際研究):(在島根県)

[2011年度奨学生]

Chong Soonil 鄭 淳一 [韓国] 男:早稲田大学 [博士] (アジア地域文化学):早稲田大学外国人研究員

Ho Van Ngoc ホー ヴァン ゴック [ベトナム] 男:千葉大学 [博士] (建築都市科学):鹿島建設 (株) 建築設計本部

Kang Moonhee 姜 文熙 [韓国] 女:日本社会事業大学 (社会福祉学)

Kim Eun Hye 金 銀恵 [韓国] 女:ソウル大学/東京大学 [博士] (都市社会学):韓国放送通信大学非常勤講師 (在ソウル)

Kim Soongbae 金 崇培 [韓国] 男:延世大学/慶應義塾大学 (国際政治学):(在ソウル)

Lee Hyojeong 李 孝庭 [韓国] 女:国際基督教大学 (比較文化):(在ソウル)

Li Yanming 李 彦銘 [中国] 女:慶應義塾大学 (政治学):フェリス学院大学非常勤講師

Naheya ナヒヤ [中国 (内モンゴル)] 女:東京大学 [博士] (地域文化):中国内蒙古大学蒙古歴史学学部助教授 (在フフホト)

Park Joonui 朴 准儀 [韓国] 女:ボストン大学/東京大学 (国際政治経済):(在ボストン)

Peng Hao 彭 浩 [中国] 男:東京大学 [博士] (日本文化研究):東京大学資料編纂所日本学術振興会外国人特別研究員

Piao Wenying 朴 文英 [中国] 女:東京医科歯科大学 [博士] (脳神経病態学):東京医科歯科大学ポスドク研究員

Sie Huei-zhen 謝 惠貞 [台湾] 女:東京大学 [博士] (アジア文化研究):帝京科学大学非常勤講師

[2012年度奨学生]

Chen Jing-Young 陳 景揚 [台湾] 男:東京大学 (文化人類学)

Choi Seung-won 崔 勝媛 [韓国] 女:東京大学 (生物科学):理化学研究所環境資源科学研究センター植物免疫研究グループ特別研究員

Dale Sonja デール, ソンヤ [ノルウェー] 女:上智大学 (グローバル社会):上智大学グローバルスタディーズ研究科特別研究員、東海大学非常勤講師

Flick Ulrich フリック, ウルリッヒ [ドイツ] (男):ハイデルベルグ大学/早稲田大学 (東アジア研究)

Han Lingji 韓 玲姬 [中国] 女:筑波大学 [博士] (情報メディア):浙江越秀外国語学院東方言語学院日本語学部日本語教師 (在紹興)

Li Xue 李 雪 [中国] 女:筑波大学 [博士] (文芸・言語):千葉大学文学部研究支援要員 (技術補佐員)

Oh Jung Keun 呉 正根 [韓国] 男:横浜国立大学 (環境リスクマネジメント)

Park Hyunjung 朴 炫貞 [韓国] 女:武蔵野美術大学 [博士] (造形芸術):映像作家

Rio Aaron リオ, アーロン [アメリカ] 男:コロンビア大学/学習院大学 (日本美術史)

Sung KiHyuk 成 耆赫 [韓国] 男:明治大学 (日本文学)

Uzum Abdullah ウズム・アブドゥラ [トルコ] 男:東京農工大学 (情報工学)

Yin Feilong 尹 飛龍 [中国] 男:東京農工大学 [博士] (機械システム工学):井関農機 (株)

Zheng Xiu 鄭 秀 [中国] 男:東京医科歯科大学 [博士] (消化器病態学):東京医科歯科大学消化器内科学外国人研究者

[2013年度奨学生]

Aroz Rafael Aingeru アロツ ラファエル アイングル [スペイン] 男:東京大学 (文化・人間情報学)

Choi Gayoung 崔 佳英 [韓国] 女:東京大学 (相関社会科学)

Hao Liang 郝 亮 [中国] 男:千葉大学 (人工システム科学)

Hsu Han-Hsiu 許 漢修 [台湾] 男:筑波大学 (生命産業科学)

Jin Guiying 金 桂英 [中国] 女:早稲田大学 (日本語教育学)

Lee Saebom 李 セボン [韓国] 男:東京大学 (地域文化研究)

Nordstrom Karl Johan ノルドストロム カール ヨハン [スウェーデン] 男:早稲田大学 (演劇映像学)

Tamayo Ruiz Efrain Eduardo タマヨ ルイス エフライン エドアルド [コロンビア] 男:東京大学 (先端学際工学)

Virag Viktor ヴィラグ ヴィクトル [ハンガリー] 男:日本社会事業大学 (社会福祉学)

Xie Pu 解 璞 [中国] 女:早稲田大学 (日本語日本文学)

Zamengo Massimiliano ザメング マッシミリアーノ [イタリア] 男:東京工業大学 (原子核工学)

Zhang Liang 張 亮 [中国] 男:慶應義塾大学 (医学研究)

2012年度の活動にご協力いただいた皆様

～ありがとうございました～

奨学および国際交流事業への寄附・賛助

団体

(株)アクト・テクニカルサポート	ケミカルグラウト(株)	中外製薬(株)
大和証券(株)	イースト不動産(株)	(株)イリア
鹿島道路(株)	鹿島建設(株)	鹿島リース(株)
鹿島建物総合管理(株)	かたばみ興業(株)	大興物産(株)
(株)都市環境エンジニアリング	東亜産業(株)	(株)八重洲ブックセンター

個人

渥美伊都子	谷原 正	永山洋子	八城政基
-------	------	------	------

SGRA の活動支援への寄附・賛助

団体

(財)アジア 21 世紀奨学財団	全日本空輸(株)
中外製薬(株)	(株)エックス都市研究所
(株)伊藤園	(一財)鹿島平和研究所
鹿島建物総合管理(株)	キッコーマン(株)
きんでんタイランド	(株)小堀鐸二研究所
鹿島道路(株)	中鹿营造股份有限公司
日商良基注入营造股份有限公司	P.T.Senayan Trikarya Sempana
プラス(株)	ラマランド社
(株)三井住友銀行	大気社タイランド
大興物産(株)	鹿島建設(株)
西尾レントオール(株)	住友電設(株)
タイ新菱	タイテック
Tostem Thai, Co.,Ltd.	

個人

足立憲彦	赤池 豊	明石 康	秋山 豪	青木生子	渥美恵子
曹 波	深見尚史	韓 京子	原 嘉男	橋本留理子	畑村洋太郎
林 弘之	藤井純一	星埜弘明	堀田健介	胡 炳群	胡 潔
藤田隆則	船本洋治	黄 智暉	今西淳子	井上博允	石井茂雄
井手園子	岩崎統子	金 政武	具 延	金子 宏	片岡達治
河村一雄	金 政淑	木村建一	岸本泰廣	小松親次郎	近藤寿治
工藤 捷	栗原俊記	栗屋志伸	黒川光博	黒住 真	来住野 究
郭 在祐	李 鋼哲	前川麻里	前川昭一	マイリーサ	真辺文宏
三澤正勝	三輪俊彦	宮川守久	水谷 弘	森本洋史	村田雄二郎
長岡 實	永山 治	中上英俊	中村順次	中曾根康弘	中谷俊信
並木隆史	野村継男	大日向美音	岡本和久	奥村裕一	大塚 寿
大内聖子	大脇正志	佐野みどり	佐藤直子	瀬谷啓二	施 建明
嶋津忠廣	塩崎恭久	鈴木 茂	鈴木由美子	高橋 甫	高橋 司
竹本 孝	竹内 忍	滝沢秀利	谷原 正	田代民治	マリアエレナティシ
東城清秀	戸河里 敏	外岡 豊	遠山幸三	恒川恵一	都竹武年雄
上野 宏	王 雪萍	呉 弘敏	武 玉萍	山田俊作	山縣 睦
山本尚子	柳田耕一	八城政基	由田哲也	千 暁飛	張 建
朱 暁雲	朱 庭耀				